

<http://www.japanplatform.org/we/index.html>

平成19年度グローバルに活躍できる「広島っ子」育成事業

尾道北高等学校で「世界とのふれあい講座」を実施



〔実施概要〕

日時：2007（平成19）年 9月19日（水）14：30 ～ 16：10

場所：尾道市長江（校長：檜田嘉明）

<http://www.onomichikita-h.hiroshima-c.ed.jp/>

対象：1学年（240名）

講師：高松幸司氏

（(特活)ジャパン・プラットフォーム 事務局長【JPF】）

〔テーマ〕

国際社会において求められる「対話力」とは
わが国として国際社会に果たすべき責務とは
国際援助の現状と展望

〔内容〕

俳優ジョージ・クルーニーと、ジャーナリストの父ニック・クルーニーが今世紀最悪の人道危機が進行中といわれるスーダンのダルフルを訪れ、生き延びた人々と対話したドキュメンタリー『A Journey to Darfur』を観ながら「対話力」について学び、気づき、またジョージ・クルーニー、白洲次郎の生き方から自分を見つめ直す。

〔講師プロフィール〕

1986年横浜国立大学教育学部卒業、青年海外協力隊員としてフィリピンへ派遣の後、パプア・ニューギニアにて国際連合開発計画国連ボランティアとして従事。91年外務省専門調査員として在ケニア日本国大使館、後に外務省入省。2001年(社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン東京事務次長、02年(特活)ピースウインズ・ジャパン統括室長を経て、同年(特活)ジャパン・プラットフォーム事務局次長、04年同事務局長代行、05年より現職。

〔所属組織の紹介〕

NGO、政府機関、企業、メディア及び研究機関等が有している人材、資金及び知識や経験を互いに活用することにより、国内外で起こる自然災害や、紛争地域及び途上国における援助活動を積極的に行い、国際社会の一員として平和な社会づくりに貢献することを目的として2000年8月に設立された国際人道支援機関。01年NPO法人格取得、06年認定NPO法人として承認。加盟NGO 25団体（2007年9月1日現在）

<http://w3.japanplatform.org/top.html>

〔講師コメント〕

後日掲載

〔受講した大学生の感想〕

講演テーマである 国際社会において求められる「対話力」とは、わが国として国際社会に果たすべき責務とは、国際援助の現状と展望、という3つのテーマで高校生に講演を行った。ダルフルの紛争の現状についての映像を観ながら、高校生や教員の方からも意見や感想を聞きながらの進行により様々な意見が出て双方向性があった。質問の時間には、価値観や文化に関することや、これから高校生が大学で学ぶためにどのようなことが大切か、など様々な質問が積極的になされていた。最後に講師からは実体験を踏まえ「個人として何ができるか考えること、自分・自我を持ち誰かに伝えることの大切さ」など話され、終始和やかな雰囲気での講演であった。

【広島修道大学3年：品川仁志】